

1. 事業の目的・概要

アワビ等の好漁場である本県沿岸岩礁域の海藻の繁茂する藻場において、近年磯焼け(藻場の大規模な衰退・消失)が確認され、急速にその範囲が拡大していることから、漁業生産の維持のため早急に対策を講じる必要がある。そこで、地区ごとに原因を推定するとともに、漁業者等が実施する各地区に適した藻場回復の取組を支援することで、藻場消失の未然防止に取り組む。

2. 「藻場の保全・回復に向けた取組指針」に基づく取組

平成29年度、30年度に実施した藻場面積調査では、岩礁に対する藻場面積の割合は、内房海域では43.4%、外房海域では87%となった。この結果を踏まえ、平成30年度(内房海域編)、令和元年度(外房海域編)に「藻場の保全・回復に向けた取組指針」を策定し、取組を行っている。

内房海域 地区ごとに磯焼けの原因を推定するとともに、漁業者による藻場回復の取組を支援する。

外房海域 漁業者が藻場消失の発生・進行の状況を的確に把握し、早期対応できるよう、簡易的なモニタリング手法を確立し、食害生物の駆除、モニタリング等の対策を開始し、藻場消失の未然防止に取り組む。

3. 近年確認された藻場消失事例とその原因

近年、内房海域においてアイゴ、ブダイ等の植食性魚類や、ガンガゼ等ウニ類による海藻の食害を受け、磯焼けの範囲が急速に拡大している。また、外房海域の一部地区でも植食性魚類による食害を受けるなど、磯焼けの兆候が確認されている。

内房海域

外房海域

- 植食性魚類による食害が確認された地区
- ウニ類による食害が確認された地区
- その他、藻場の消失が確認された地区

館山市伊戸地先で確認された藻場消失

令和3年4月

令和3年9月

4. 令和3年度の主な取組

① 千葉県磯焼け対策会議 令和3年8月17日

本県沿岸域で急速に広がりが見られる磯焼け(藻場消失)に対し、関係者が連携して効率的かつ効果的な対策を講じることにより、本県沿岸域の藻場を維持・回復させることを目的とする。

構成員	令和3年度開催会議
・県	8月25日 磯焼け対策会議
・県漁業協同組合連合会	9月9日 磯焼け対策チーム会議(外房対策チーム・夷隅)
・漁業協同組合	9月29日 磯焼け対策チーム会議(内房対策チーム、外房対策チーム・安房)

② 県水産総合研究センターによる調査研究(平成29年度～)

- ・海藻及び食害生物の分布状況と藻場衰退の原因を調べ、漁業者に回復の取組を指導・支援する。
- ・潜水調査によらずに藻場の変化を早期に把握する手法開発。
- ・藻場消失の兆候があった場合には、確認調査を実施し、早期に対応する。



③ 藻場消失対策取組支援事業(令和3年度～)

- ・藻場衰退の著しい内房海域において、漁業者が実施する藻場回復の取組に必要な資材等に対して支援する。
- 対象:** 鋸南町、南房総市、館山市内の漁業協同組合
- 内容:** 刺網による植食性魚類駆除、スポアバックによる藻場回復
漁獲した植食性魚類の処分費



④ 水産多面的機能発揮対策事業(令和2年度～)

- ・種苗の設置(南房総市、館山市)
- ・岩盤清掃・浮遊堆積物の除去(館山市)
- ・保護区域の設定(南房総市)
- ・古木刈り(御宿町)

⑤ その他各地区による取組

- ・藻場勉強会
- ・植食性魚類の持ち帰り運動
- ・ポスターによる漁業者への注意喚起

全国でみられる藻場の衰退

植食性魚類による食害

ウニ類による食害

こうなる前にできることから始めましょう!!

外房でみられる植食性動物

ブダイ・アイゴ・イスマミの水揚げ、持ち帰りの徹底をよろしくお願いします!!

館山市伊戸で藻場が急速に消失しています!

植食性魚類の捕食と有効利用により、藻場の回復に努めましょう!!